

1. 市民意向調査等からみられる現状と課題(自由回答を含む)

(1) 安全・防犯に関する不安感

安全・防犯に関する不安感

調査で安全や防犯に関して直接的に尋ねた項目はないが、子どもの遊び場について感じるものの中に、「遊び場周辺の道路が危険である」、「遊具などの設備が古くて危険である」といった回答がそれぞれ2割弱みられた。またその問いの「その他」欄において、「事件や事故に巻き込まれないか心配である」といった意見もみられていた。

自由意見でも、子どもをねらった犯罪の増加、不審者の出没等についての不安感が意見としてみられている。

自由回答でみられた意見

●子どもの安全について

最近子どもを狙った悪質な犯罪が増加しており、安心して通学させたり遊びにいかせることができない。

最近、学校から「不審者情報」を持ち帰ってくるのが多く、とても不安。不審者が出たという情報ばかりで、その人が捕まったという情報は回ってこないの、不安は募る一方。

今は親の目のないところで子どもだけで遊びに行かせることが危険な時代で、公園ですら親と一緒にないと不安になる。

学校近くを通るたびに、こんな簡単な門ではいつ不審者が侵入するかわからないと不安になる。

子どもを外で遊ばせたいけれど、変な事件が多くて「家にいなさい」ということになる。

(2) 地域における安全・防犯対策について

地域における安全・防犯対策についての意見

自由意見において、市や学校などによる子どもの安全対策についての具体的な要望が示されているほか、地域住民も含めた地域が一体となつての安全対策の必要性が指摘されている。

自由回答でみられた意見

●市・学校による安全対策

防犯や、交通事故に関する危機管理対策マニュアルを作成し、学校を通して各家庭に配布してもらいたい。

不審者に関する情報が入ったらすぐに携帯のメールなどに情報が入るようにしてほしい。

個人的に子どもに防犯ブザーを持たせているが、市から配布して全員に持たせるべきだと思う。

●地域住民による安全対策

PTAないし近隣住民で自警団のようなものを作り、下校時にパトロールするなど、子どもの安全を守る制度の充実を希望する。

子どもが放課後、安全に遊べるように行政、学校、地域が一体となつて見守る制度が欲しい。それには父兄に多少の苦勞が伴っても仕方ないと思う。

2.施策・事業の現況と課題

(1)防犯

防犯意識の啓発

平成16年1月府中市市民生活の安全確保に関する条例を施行し、府中市生活安全推進会議で検討中である。

事業	事業の目標・内容・実績等	課題等
防犯意識の啓発	市・市民・事業者等が自らの責任において犯罪の防止に努め、連携した活動を行うことにより、府中市を「犯罪の起こさせない、犯罪が起きにくいまち」にし、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進する。 (現況)情報の提供:広報月1回、自治会回覧板年4回	<ul style="list-style-type: none"> ●国は、平成15年を治安回復元年として、今後3年間で10年前の治安水準に回復することを目標とする。 ●東京都は、平成15年6月に東京都安全・安心まちづくり条例を制定。 ●全国各地で、年々刑法犯の発生件数が増加傾向にあり、犯罪の検挙率も低下している。また、池田小学校事件等、子どもを取り巻くいたましい事件が後を絶たない。このような状況から、市、市民協働による連携した犯罪を防止するための活動を実施する必要がある。

地域安全体制

防犯協会や地域住民による自主的な地域パトロールや子ども緊急避難の家の設置など、地域での安全体制づくりを支援し、防犯灯の設置を進め、夜間の安全性を高める。また、交番の増設やパトロールの強化を東京都に要望する。

平成16年1月府中市市民生活の安全確保に関する条例を施行し、府中市生活安全推進会議で検討中である。

事業	事業の目標・内容・実績等	課題等
地域安全体制	市・市民・事業者等が自らの責任において犯罪の防止に努め、連携した活動を行うことにより府中市を「犯罪の起こさせない、犯罪が起きにくいまち」にし、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進する。 (現況)警備会社に委託し巡回警備員が巡回(月7回) 市の施設の安全点検 各防犯関係団体のパトロール 春・夏・秋の地域安全運動 市・市民協働による連携した活動について、犯罪発生を抑制するため府中市生活安全推進会議で検討中	<ul style="list-style-type: none"> ●国は、平成15年を治安回復元年として、今後3年間で10年前の治安水準に回復することを目標とする。 ●東京都は、平成15年6月に東京都安全・安心まちづくり条例を制定。 ●全国各地で、年々刑法犯の発生件数が増加傾向にあり、犯罪の検挙率も低下している。また、池田小学校事件等、子どもを取り巻くいたましい事件が後を絶たない。このような状況から、市、市民協働による連携した犯罪を防止するための活動を実施する必要がある。

(2)交通安全

交通安全意識の啓発

交通安全協会などと連携して交通安全運動や広報活動などを実施し、交通安全意識の啓発や交通ルールの遵守、交通マナーの向上に努め、特に交通事故の被害にあいやすい子どもを対象とした交通安全教育を充実する。

事業	事業の目標・内容・実績等	課題等
交通安全意識の啓発	<p>市民一人ひとりに交通安全思想の普及・啓発を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、市民自身による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図る。</p> <p>(現況)春・秋の交通安全運動(各10日間実施) 幼児交通安全教室職員派遣事業制度 小学生・高齢者自転車競技大会 交通安全市民の集い 交通安全パレード2回</p>	<p>●自転車の事故や飛び出し事故などが多く、ルール、マナーの遵守が求められている。</p>

歩行者の安全確保

子どもや子ども連れが安心して歩行できるように、歩行空間のバリアフリー化をはじめとした歩行者優先の道路整備を進める。

車いすが通行できる歩道幅員の確保や自転車道の設置、歩車道の分離など、歩行者優先の道路整備を進め、歩道の段差・勾配の改善、歩道上の放置自転車や違法看板の撤去など、歩行空間のバリアフリー化を推進する。

事業	事業の目標・内容・実績等	課題等
●あんしん歩行エリア	<p>府中駅北側地区は、幼稚園、小学校、中学校、農工大が存在し、周辺には病院や福祉施設等が多く存在する地域であり、幅員の狭い道路では、朝夕の通勤・通学時は歩行者・自転車が自動車と輻輳して、危険な状態となっている。歩行空間の確保は極めて重要であるため、あんしん歩行エリアとして設定する。</p> <p>(現況)府中駅北側地区230haをあんしん歩行エリアに設定(15年度)</p>	<p>●特になし</p>